

Title	アジアイノベーション戦略ネットワークの形成戦略 (<ホットイシュー>日本企業のアジア展開(1), 一般講演 , 第22回年次学術大会)
Author(s)	旭岡, 勝義; 丹羽, 富士雄
Citation	年次学術大会講演要旨集, 22: 724-727
Issue Date	2007-10-27
Type	Conference Paper
Text version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/10119/7378
Rights	本著作物は研究・技術計画学会の許可のもとに掲載するものです。This material is posted here with permission of the Japan Society for Science Policy and Research Management.
Description	一般講演要旨

2 E 1 8

アジアイノベーション戦略ネットワークの形成戦略

○旭岡勝義(株)社会インフラ研究センター)

丹羽富士雄(政策研究大学院大学)

はじめに

1. アジアイノベーションの形成と意義
2. アジアイノベーション戦略の特色
3. アジアイノベーション戦略ネットワーク形成
4. 形成戦略とその展開

最後に

はじめに

アジアの発展が本格化している。従来はアジアの発展は、我が国の科学技術移転や低価格の労働力を基盤とする部品・素材の生産集積等に依存していた。しかしながら、現在展開するアジアの展開は、独自の科学技術や産業集積及び人材育成等でグローバルな戦略展開が基本になっている。

その意味で発展推移を検討すると、長期的な視点での展開戦略、産学連携の急速な人材育成と流動化、米国欧州等との資金援助を含めたリーダー人材育成の知の蓄積が大きな寄与をしているのである。

アジアの発展は、いまや独自の展開の様相を呈し始めている。

今こそ「アジアイノベーション戦略ネットワーク形成」の戦略的な意味は深まる。

1. アジアイノベーションの形成と意義

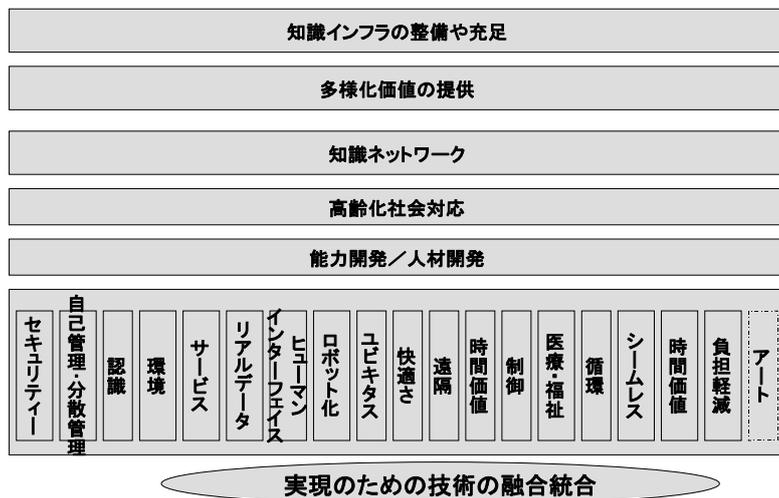
アジアイノベーションは、第3段階に入っている。

特に、それぞれ各国の高度産業化や国内顧客の求める戦略機能の開発、それぞれ各要素技術の知見の集積、開発対象の課題の複雑性への対応や異分野の融合統合研究等が拡大と深まりを見せる時代には、技術人材とその融合の高度化が必要になる。しかも、世界戦略との連動を視野に入れた産業育成への持続的な展開が、世界ファンドと結合して、確実な成果を見せ始めている。

アジアは、明確に知識社会に向けて、知識レベルをさらに高度化し、世界的な企業や顧客の価値を高める要請に、ますます変革を遂げ、実現のレベルも高度化することになる。それぞれの持つ技術ミッションや技術インターフェースを整合させながら、全体として実用化に耐える事業開発を成し遂げていくと言う、極めて統合的な整合的な作業を展開しつつある。そこでは、対象の複雑性を乗り越える統合的な意味解釈や意味の体系的な編集

作業が必要になるのであるが、こうした人材開発へ世界的な企業との連携を含めて、熱を帯びた展開を重視している。

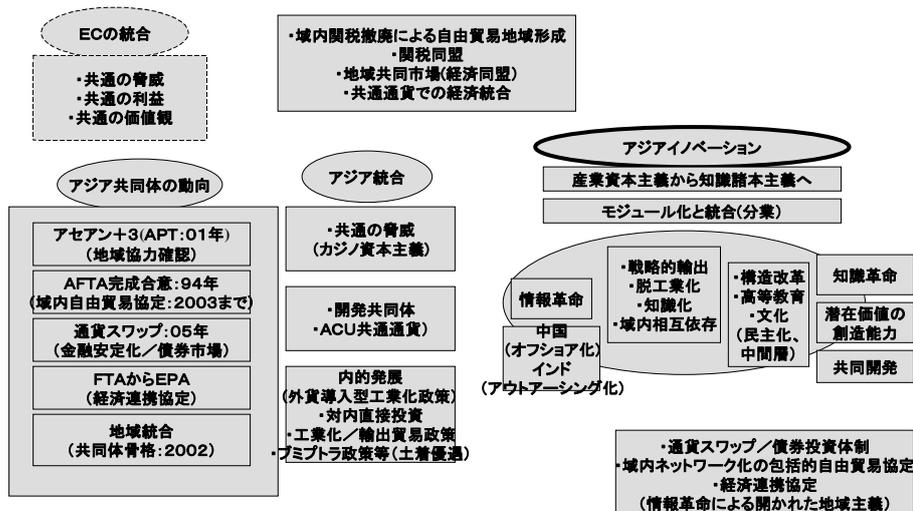
(参考)知識社会(将来)



2. アジアイノベーション戦略の特色

アジアイノベーションは、各国独自の展開を見せながらも、共同ネットワークの形成が、強力に形成されつつある。それぞれの発展段階や潜在能力をネットワークして、諸問題(政治、経済、安全保障、消費構造、文化価値、サービス、情報共有等)の解決に対応した、共同の枠組み作りが展開されつつある。

(参考)アジアイノベーション概要



3. アジアイノベーション戦略ネットワーク形成

アジアイノベーション戦略ネットワークの形成は、

1) 科学技術のデータベースの基盤形成 (ANSTEP-PJ)

- ・アジアの科学技術政策、科学技術統計・指標に関する専門家ネットワークを構築し、誰でも利用可能なネットワークを通じて情報を収集・整備し、アジア地域の科学技術政策の協力や科学技術活動の協力等に向けた議論の場（開かれたコミュニティの構築）を提供すること。

2) 科学技術についての政策課題解決のためのネットワーク構想

- ・対象領域として、
 1. 環境技術／エネルギー技術／水技術、
 2. 食糧開発技術、
 3. ライフサイエンス技術／バイオ技術／ナノ技術、
 4. 警報技術（津波他）／地震観測ネットワーク、
 5. 災害対応技術、
 6. ITS等交通体系技術、
 7. 文化財保護技術及び公開技術、
 8. テロ対策技術（セキュリティー技術）、
 9. 海洋開発技術、
 10. 統合医療技術、
 11. 廃棄物処理技術、

* アジア国際標準化ルール

* 知的財産権

- ・産官学の共同開発や共同研究の活発化

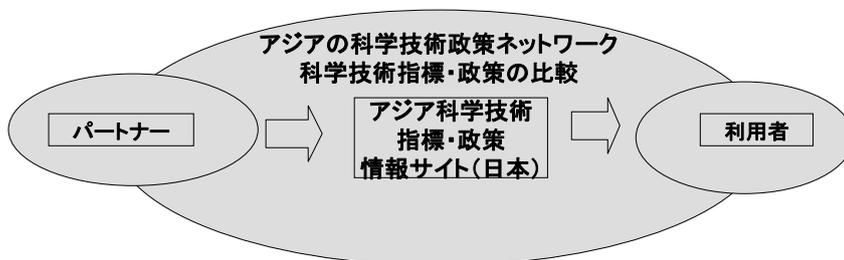
3) アジア研究技術圏への展開

- ・アジアの共通課題解決のための、科学コミュニティの集結や共通の研究機関及び人材育成や交流の定常化等新しい科学技術基盤を形成する。

等のネットワークを形成することが重要である。

ANSTEP-PJ

アジアの科学技術政策、科学技術統計・指標に関する
専門家ネットワークを構築し、
誰でも利用可能なネットワークを通じて情報を収集・整備し、
アジア地域の科学技術政策の協力や科学技術活動の協力等
に向けた議論の場（開かれたコミュニティの構築）を提供する



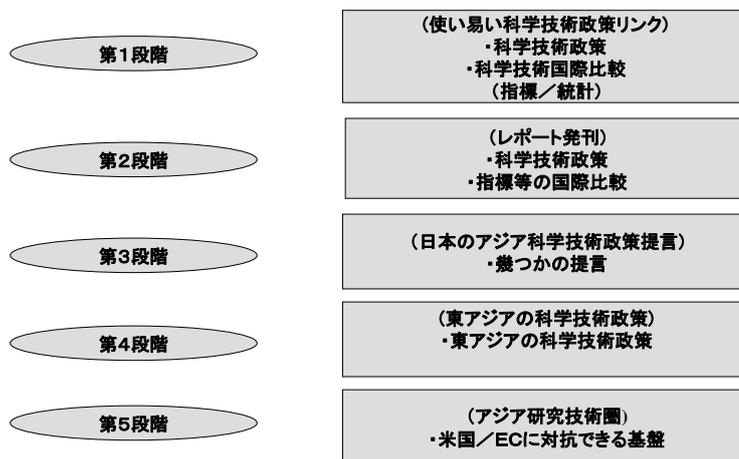
* GRIPS、NISTEP、JSTのアライアンス

4. 形成戦略とその展開

今後の「アジアイノベーション戦略ネットワーク」の形成と展開は、

- 1) アジア共通課題解決に関連する産業の仕組みと育成の将来像の策定
- 2) 新たな産業「起業投資家」の育成（A & I）と連携
「起業投資家」（起業／育成を意図した投資家）
* 現状延長ではない技術開発、事業開発の理解
- 3) 融合産業インフラの整備（仕組み）
「新たな社会インフラ」の構築等
- 4) リクアイアメント主導の経営手法と形態
「意味設計」
- 5) 目利きの高度化と融合産業の展開
「個別技術の意味の深堀」
- 6) 新しい産業政策及び知的集積
- 7) 新しい人材育成と能力開発
 - ・ 交流（異分野）
 - ・ 経験リスクとその取り込み

(参考) アジア科学技術政策センター(仮称)の段階的展開



最後に

知識社会実現に向けて、アジアの課題の相互関係や複雑性は増してくる。そこには、個別技術、個別知見を前提にして、新しい融合技術や融合知見が大きな役割を果たすことになる。